

2003 年日本日中友好青年代表団に参加して

2004-02-16

北大大学院助手 渡部 淳 makotow@ilcs.hokudai.ac.jp

1 . 日中青年交流事業

- ・小渕政権時代に日中で合意された 5 ヶ年計画の青年相互訪問事業。

「～趣旨～1998 年 11 月の江沢民中国国家主席訪問時に日中両国が共同で発表した「青少年交流のための協力計画」に基づき、両国の若い世代の各界代表 100 人ずつの相互訪問が 1999 年から 5 年間にわたり行われることに決定。本年は日中平和友好条約 25 周年で、本団の訪中は両国の善隣友好の絆をより深いものにしていく上で重要な事業であり、新しい世紀の日中関係を担う人材の育成と、日中友好交流の各分野の担い手を育むことを主たる目的とします。外務省の委託、日中友好協会が編成派遣、中国の受け入れは外交部委託、中華全国青年連合会が担当。」

- ・2003 年で 5 年目、今後も継続の見通し。

- ・外務省派遣、日中友好協会実施

- ・訪問地：北京 地方都市 上海

2 . 2003 年代表団(2003.12.6-2003.12.14)

- ・全団は 3 つに分かれて北京 済南・南昌・南寧 上海

- ・私のコース、北京 南昌 景德鎮 南昌 上海

- ・人民大会堂歓迎レセプション、青年と交流（文化体験）地域の文化教育施設見学、呉邦国委員長と会見、故宮見学、南昌の史跡見学、江西省の全青連や政府の人と会見、景德鎮市政府や青年と会合、景德鎮見学、南昌でホームステイ、上海市内視察、歓送宴会

3 . 雑感 宴会を結ぶバスの旅？

- ・国、省、市町村レベルの政府と青年連合の歓迎宴会をバスで結ぶスケジュール。実質的な「交流」というより、見学旅行的な傾向。

- ・しかし、温かい「人流」もあり。南昌でのホームステイ、南昌師範大学訪問と交流会。そろそろ顔と顔を付き合わせて話し合う時機。

- ・パーティーと出し物だけでよいのだろうか。（日本側は承知の上？）

4 . 「窓口は政府だけ」に寄せて

- ・外交問題などで首相筋は「交渉の窓口は、政府だけ」と強調。

- ・現実のアジアでの交流のレベルは政府と民間の混合（外交の第 2 路線 second track）。日中のこのレベルでの、実質的な交流・交渉が必要。